

札幌市小・中約50校の特別支援学級で

# フットサル出前授業

## 10月以降 プロ選手が指導

札幌市内の小学校、中学校の特別支援学級50校程度を対象にフットサルの出前授業を行う「ちゃれんじ・ふっと・ほーる」が本年度から初めて実施される。主催は、小野寺パラスポーツ振興会（小野寺眞悟理事長）。札幌市特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会（札幌協）が後援する。10月から来年2月末の期間

に、エスポラーダ北海道の選手が各学校を訪問。フットサルを通して、子どもたちの心身の健やかな育成、スポーツの振興・普及を図る。小野寺パラスポーツ振興会は、特別支援学校の児童生徒におけるスポーツの振興を自指して教育活動を展開している。エスポラーダ北海道はこ

れまで道教委、札幌市教委と協力協定を締結し、監督、コーチ、選手を道内の小学校に派遣し、体育出前授業を実施。特別支援学級を対象に行うのは今回が初めて。ちゃれんじ・ふっと・ほーるは、市内の特別支援学級を対象にボールを使って遊ぶゲームを取り入れた遊びやゲームを取り入れ、多くの子どもたちに笑顔でフットサルを楽しむ機会をつくり、子どもたちの心身の健やかな育成に寄与することをねらっている。本年度の実施期間は、ことし10月から来年2月末で

るまでとした。授業では、エスポラーダ北海道に所属する選手が各学校を訪れ、①準備運動の動きづくりの運動②ボールを使った遊び③フットサルゲームなどを行う。各学校は授業後に、活動記録をエスポラーダ北海道に送付。活動記録は、小野寺パラスポーツ振興会のホームページに掲載し、成果普及に活用する。なお来年度は、実施校を拡大して行う予定だ。